

# 小学6年 **社 会** — 解答と解説

## 1

		問 1	
(1)	ア	(例) 身分の差が生まれ、 争いが起こるようになった。	

問 2			問 3			問 4			
口	分	田	(1)	イ	(2)	ウ	(3)	エ	ア

問 5				問 6			
(1)	地	頭	(2)	ア	(3)	イ	ウ

問 7		問 8		
(1)	ウ	(2)	エ	イ

## 2

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5			
ウ	ア	ア	イ	(1)	5	(2)	ウ

問 5	
記号	イ
43	
(3) 理由	(例) イはアに比べ、夏の気温が高い。夏の気温が高いという特ちょうが稲作に適していると考えられるから。

問 6	問 7	問 8
イ	エ	エ

**3**

問1	問2	問3	問4	問5	問6
E	ア	ウ	ア	C	D
50	51	52	53	54	55

**4**

問1	問2			問3				
エ	(1)	ア	(2)	ア	記号	エ	正しい語	足利義満 (あしかがよしみつ)
56	57	58	59	60				

問4			問5		
(1)	ウ	(2)	エ	エ	
61	62	63			

問6			
世紀	11	記号	ア
64		65	

(配点)

①問1(2)、②問5(3)理由…各6点

①問2、問3(2)、問4、問5(1)、②問4、③問1、問3、問4、④問3正しい語、問6記号…各3点

上記以外 各2点 計100点

【解説】

①

問1

(1) **A2 比較**

「静岡県にある」「弥生時代の」遺跡はアの登呂遺跡です。イの三内丸山遺跡は、青森県にある縄文時代最大級の集落の遺跡です。ウの岩宿遺跡は、関東ローム層から石器が発見されたことで日本で初めて旧石器時代の存在が明らかになった群馬県にある遺跡です。エの野尻湖遺跡は、長野県にある旧石器時代の遺跡です。ナウマンゾウの歯の化石などが見つかっています。

(2) **B2 視点を変える 推論 順序立てて筋道をとらえる**

弥生時代に稲作が広まったことによる社会の変化について、「身分」と「争い」のことは使って説明する問題です。稲作が広まったことでムラには支配者があらわれ、身分の差が生まれました。また、たくわえのあるなしで貧富の差が生まれ、ムラどうして土地や水をめぐる争いが起こるようになりました。

問2 **A1 知識**

「漢字3字で」答える問題です。「6年おきにつくられる戸籍をもとに、6歳以上の男女に与えられた土地は、口分田です。口分田の収かくの約3%の稲を納める税である租は、男女に課せられていました。

問3

(1) **A2 比較**

貧窮問答歌が収められている「奈良時代につくられた日本最古の歌集」は万葉集なので、イが正解です。アの方丈記とエの徒然草は鎌倉時代に書かれた随筆です。方丈記を書いたのは鴨長明、徒然草を書いたのは吉田兼好です。ウの古事記は奈良時代につくられた歴史書です。

(2) **A2 比較**

歌からは、しばらく米を食べることができていないこと、それでもなお税を納めるようせまられる民衆の苦しい生活のようすが読み取れます。ⅡとⅣがあてはまるのでウが正解となります。

(3) **A2 比較**

下線Aの職は「里長」です。里長にあたったのは有力な農民なのでエが正解です。この時代、律令制のもとで地方は国・郡・里に分けられ、国司は都から派遣された貴族が、郡司は地方の豪族が、里長は有力な農民がその職にあたりました。

問4 **A2 比較**

「正しくないもの」の組み合わせを選ぶ問題です。「開発した土地を永久に私有することを認め」たのは墾田永年私財法、「期限付きで土地の私有を認め」たのは三世一身の法なので、AとBが誤りです。よってアが正解となります。

## 問5

## (1) A1 知識

「漢字2字で」答える問題です。「鎌倉時代、荘園や公領ごとに置かれ、土地の管理や年貢の取り立てなどを行った職」は地頭です。

## (2) B1 置き換え 比較

a (地頭) の位置、また「執権」「管領」に注目することで確実に答えが導き出せる問題です。アには執権が、イには管領が置かれていることが読み取れます。鎌倉幕府には将軍を助ける執権が置かれたので、鎌倉幕府のしくみとして正しいのはアだと判断できます。イは室町幕府のしくみです。

## (3) B1 視点を要する 比較

武士の法律である御成敗式目を定めたのは鎌倉幕府3代執権の北条泰時なので、正解はイです。アの源頼朝は鎌倉幕府を開いた初代将軍、ウの源実朝は鎌倉幕府3代将軍、エの北条時宗は元寇時の鎌倉幕府8代執権です。

## 問6 A2 比較

「正しくないもの」を選ぶ問題です。農具に鉄器が使われるようになったのは弥生時代なので、ウが正解となります。鉄器や青銅器などの金属器は、弥生時代に大陸から伝わりました。

## 問7

## (1) A2 比較

検地を全国的に行ったのは豊臣秀吉なので正解はウです。アの織田信長は豊臣秀吉が仕えた人物、イの明智光秀は織田信長の家臣で、本能寺の変で織田信長を裏切った人物です。エの武田勝頼は、織田信長と長篠の戦いで争い、敗れた人物です。

## (2) A2 比較

「正しくないもの」を選ぶ問題です。検地ではウにあるように「検地帳に田畑を耕す農民の名を記し、土地はそれぞれの農民のもの」としました。奈良時代以降続いてきた荘園は消滅することになるので、エが正解となります。

## 問8 A2 順序立てて筋道をとらえる

平安時代は奈良時代のあと、鎌倉時代の前の時代です。よって「Q5とQ6の間」のイが正解となります。

2

問1 A2 比較

信濃川流域に広がるのは、越後平野、流域面積第2位の石狩川流域に広がるのは石狩平野です。よって正解はウです。アの津軽平野は青森県を流れる岩木川流域に広がる平野でりんごの栽培が、十勝平野は十勝川流域に広がる平野で畑作や酪農がさかんです。イの伊勢平野は三重県、天塩平野は北海道に位置しています。エの宮崎平野は宮崎県、釧路平野は北海道に位置しています。

問2 A2 比較

Cは、「秋田県」にあること、かつて「日本で2番目に大きな湖」であったこと、「干拓を行い稲作地帯」となったことから、八郎潟があてはまると考えられます。Dは、「( D )」について日本で2番目に大きな湖」とあることから、日本で1番大きな湖＝琵琶湖があてはまると考えられます。よって正解はアです。宍道湖は島根県にある汽水湖（海水と淡水が混ざっている湖）で、しじみ漁がさかんです。霞ヶ浦は、茨城県にある、現在日本で2番目に大きい湖です。

問3 A2 比較

「坂東太郎」とも呼ばれる日本で2番目に長く、流域面積第1位の川の下流に広がる、日本最大の面積を持つ平野は、関東平野です。よって正解はアです。「坂東太郎」とも呼ばれ、「日本で2番目に長く、流域面積第1位」の川は利根川です。

問4 A2 分類

日本三大急流と呼ばれるのは、東北地方の最上川、中部地方の富士川、九州地方の球磨川です。よって正解はイです。Iの吉野川とIVの四万十川は中国・四国地方の川です。吉野川は「四国三郎」、四万十川は「日本最後の清流」とも呼ばれます。

問5

(1) B1 視点を考える 分類 置き換え

「算用数字」で答える問題です。米の生産量第10位までの都道府県のうち、東北地方に属するのは、秋田県、宮城県、福島県、山形県、青森県の5県です。よって答えは「5」です。1位の新潟県は中部地方、2位の北海道は北海道地方、7位の茨城県と8位の千葉県、9位の栃木県は関東地方に属する都道府県です。

(2) B1 視点を考える 推論 比較

新潟県の上越市は、日本海側の気候に位置します。日本海側の気候は、冬の降水量が多いことが特徴です。よって、あてはまるのはウだと判断できます。アは瀬戸内の気候に位置する香川県高松市、イは中央高地の気候に位置する長野県松本市の雨温図です。

(3) B2 視点を考える 推論 比較 理由

「夏」「稲作に適している」ということばをすべて使って、イが稲作のさかんな地域の雨温図だ

と判断できる理由を説明する問題です。問題文の指定は必ず守りましょう。米づくりには、夏の気温が高い気候が適していることを知識としておさえておく必要があります。その上で雨温図を比べると、イはアに比べ、夏の気温が高いことがわかります。よって、稲作がさかんな地域の雨温図はイだと考えられ、理由も記述することができます。なおイは札幌市、アは根室市の雨温図です。

### 問6 A2 比較

「やませ」は、春から夏にかけて太平洋側にふく、北東からの冷たい風です。よって正解はイです。農作物の育ちが悪くなるなどの被害をもたらす冷害の原因になります。

### 問7 B1 視点を変える 具体・抽象 比較

「正しくないもの」を選ぶ問題です。1世帯あたりの食料費は、2000年は7万5174円、2023年は8万4552円と増えているので、アは正しいです。2023年では、1世帯あたりの1か月の食料費は約8万5000円です。米のしめる割合は1.8%で10%を大きく下回っているため、米にかけている費用は全体の約10分の1である8500円以下だと判断できます。よってイは正しいです。米のしめる割合は、2000年は4.1%でしたが2023年には1.8%と半分以下になっているので、ウは正しいです。調理済みの食料のしめる割合は、2000年は18.0%、2023年は24.1%と、約6%増えています。10%以上は増えていないので、エは誤りです。よって正解はエです。

### 問8 B1 視点を変える 具体・抽象 比較

「農業で働く人の数」は、資料5からわかります。グラフの長さはどんどん短くなっており、数字もどんどん小さくなっているのが、農業で働く人の数は減っています。「農業で働く人にしめる65歳以上の人の割合」も、資料5からわかります。61.1%、64.9%、69.6%、70.8%、71.7%と、しめる割合はどんどん大きくなっています。「田の耕地面積」は、資料3からわかります。折れ線グラフが右かた下がりになっているので、田の耕地面積は減っています。「農業総産出額にしめる米の割合」は、資料4からわかります。米の割合は、47.4%、27.8%、15.5%と小さくなっています。よって、①は「減って」②は「大きく」③は「減って」④は「小さく」のエが正解となります。

3

資料のAは熊本県、Bは広島県、Cは鳥取県、Dは香川県、Eは三重県、Fは和歌山県です。

### 問1 B1 視点を変える 推論 比較

機械工業がしめる割合が非常に大きく70%近いことから、グラフは中京工業地帯の工業出荷額の割合を示したものと判断できます。中京工業地帯は愛知県を中心に、三重県、岐阜県に広がる工業地帯です。よって正解はEです。

### 問2 A3 視点を変える 関係づける 置き換え

1の「紀伊山地の霊場と参詣道」は三重県・奈良県・和歌山県、2の「知床」は北海道、3の「長

崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は長崎県・熊本県、4の「日光の社寺」は栃木県、5の「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」は山梨県・静岡県、6の「厳島神社」は広島県にある世界遺産です。A～Fいずれかの県にあるのは1と3と6なので、アが正解となります。

問3 **A3** 視点を変える 関係づける 置き換え

中国山地は中国地方の中央部を東西に、四国山地は四国地方の中央部を東西にのびている山地です。熊本県、広島県、鳥取県、香川県、三重県、和歌山県の中で、中国山地と四国山地には含まれている県は広島県と香川県なので、正解はウです。

問4 **B1** 視点を変える 関係づける 置き換え

熊本県、広島県、鳥取県、香川県、三重県、和歌山県の中で新幹線が通っているのは、熊本県と広島県です。よってアが正解です。熊本県を通っているのは九州新幹線、広島県を通っているのは山陽新幹線です。

問5 **A3** 視点を変える 関係づける 置き換え

境港があるのは鳥取県です。よって正解はCです。

問6 **A3** 視点を変える 順序立てて筋道をとらえる 置き換え

Dの香川県は、47都道府県の中で面積が最も小さい都道府県です。よって、熊本県、広島県、鳥取県、香川県、三重県、和歌山県を面積の大きい順に並べたとき6番目となるのは香川県です。正解はDとなります。

4

問1 **A2** 比較

真言宗を開いたのは空海、天台宗を開いたのは最澄です。真言宗と天台宗は新しい仏教の宗派です。よって正解はエです。

問2

(1) **A2** 比較

後白河天皇と崇徳上皇の対立から、藤原氏・平氏・源氏が一族内で敵味方に分かれて戦ったのが保元の乱です。天皇方につきこの戦いに勝利した平清盛と源義朝が1159年の平治の乱で対立し、平清盛が勝利して、平氏が政治の実権をにぎりました。よってどちらの文も正しいので、正解はアです。

(2) **A2** 順序立てて筋道をとらえる 分類

年表の㊸(866年～1156年)の期間で藤原純友の乱より前に起きたできごととは、935年の平将門の乱です。イの加賀の一向一揆は室町時代の1488年、ウの壬申の乱は飛鳥時代の672年、エの後三年合戦は前九年合戦のあと、1083年のできごとです。よって正解はアです。

問3 **A2** 比較 置き換え

「正しくないもの」を選び、正しい語を書く問題です。南北朝を統一した3代将軍は足利義政<sup>あしかがよしまさ</sup>ではなく足利義満<sup>よしみつ</sup>です。足利義政は8代将軍です。

## 問4

(1) **B1** 視点を変える 比較 置き換え

安土城<sup>あづち</sup>は琵琶湖のほとりに築かれたので、正解はウです。アは岐阜城、イは清洲城<sup>きよす</sup>で、いずれも織田信長にゆかりのある城です。

(2) **A2** 具体・抽象 比較

「あてはまらないもの」を選ぶ問題です。一揆を防止するために刀狩令<sup>かたがり</sup>を出したのは、織田信長ではなく豊臣秀吉です。よって正解はエです。

問5 **A2** 順序立てて筋道をとらえる

年代から、Aは飛鳥時代、Bは奈良時代、CとDは鎌倉時代のできごとであることがわかります。よってAはⅣの「大宝律令<sup>たいほうりつりょう</sup>が完成する」、BはⅢの「国分寺建立<sup>こくぶんじこんりゅう</sup>の詔<sup>みことり</sup>が出される」が入ると判断できます。そこまでわかれば、正解としてエを選ぶことができます。Ⅰの承久<sup>じょうきゅう</sup>の乱は、1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府をたおすために起こした乱です。Ⅱの弘安<sup>こうあん</sup>の役は、元軍<sup>えんぐん</sup>が2度にわたり日本にせめてきた元寇<sup>げんこう</sup>の2度目の戦いです。

問6 **B1** 視点を変える 置き換え

今から1000年前は1026年です。1026年は11世紀です。11世紀は1001年から1100年なので、年表中の11世紀のできごとは、1016年と1086年です。

## (記述問題の採点について)

・明らかな誤字・脱字がある場合… - 1点

## ① 問1(2)

「身分」・「争い」2つのことばが使用されていない場合… 「不正解」

## ② 問5(3)理由

「夏」・「稲作に適している」2つのことばが使用されていない場合… 「不正解」

※記号が不正解の場合、理由については内容の如何にかかわらず、不正解となります。

